

天童市高齢者新型コロナウイルス感染症予防接種について

ワクチン接種は強制ではありません。接種の努力義務や市からの接種勧奨はありません。

ワクチンの効果と副反応のリスクの双方について理解し、ご本人の意思に基づいて接種をご判断いただきますようお願いいたします。

予防接種を受ける前に（必ずお読みください。）

高齢者新型コロナウイルス感染症の予防接種について効果や副反応をよく理解してから接種しましょう。気にかかることやわからないことがあれば予防接種を受ける前に担当の医師によく聞きましょう。十分に納得できない場合は、接種を受けないでください。

予診票は接種する医師にとって予防接種の可否を決める大切な情報です。接種を受けるご本人が責任を持って記入し、正しい情報を接種医に伝えてください。ご高齢の方などでご自身での記入が難しい場合は健康状態をよく把握しているご家族の方など代理人がご記入ください。なお、接種を受ける本人の意思が確認できない場合は接種できませんのでご了承ください。

予防接種を受けることができない人

- 明らかに発熱している人（一般的に、体温が37.5℃を超える場合を指します。）
- 重い急性疾患にかかっている人
- 新型コロナウイルスワクチンの成分に対し重度の過敏症（※1）の既往歴がある人
- 上記以外で、予防接種を受けることが不適当な状態にある人

（※1）重度の過敏症とは、アナフィラキシーや、全身性の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下等、アナフィラキシーを疑わせる複数の症状を指します。前回までの接種でこれらの症状が認められた人は、同一の成分を含むワクチンを用いた接種を受けることができません。

予防接種を受けるに当たり、担当医師とよく相談しなければならない人

- 心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患がある人
 - 過去に予防接種を受けて、接種後2日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状がでた人
 - 過去にけいれんを起こしたことがある人
 - ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある人
- 過去に、薬剤で過敏症やアレルギーを起こしたことがある人は、接種前の診察前に必ず医師へ伝えてください。

接種を受けた後の注意点

- ワクチンの接種を受けた後、30分間は、急な副反応が起こることがあります。接種医師と連絡がとれるようにしておきましょう。
- 注射した部分は清潔に保つようにし、接種当日の入浴は問題ありませんが、注射した部分はこすらないようにしてください。また、接種後に体調が悪い時は無理をせず、入浴は控える等、様子を見るようにしてください。
- 通常の生活は問題ありませんが、当日の激しい運動や過度の飲酒等は控えてください。

副反応について

- 主な副反応は、注射した部分の痛み、倦怠感、頭痛、関節や筋肉の痛み、疲労、寒気、発熱等があります。また、稀に起こる重大な副反応として、ショックやアナフィラキシーがあります。なお、本ワクチンは、新しい種類のワクチンのため、これまでに明らかになっていない症状が出る可能性があります。接種後に気になる症状を認めた場合は、接種医あるいはかかりつけ医に相談してください。

予防接種健康被害救済制度について

予防接種後の副反応による健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）は、極めてまれですが、なくすことができず不可避免的に生ずるものです。健康被害救済制度は、接種に係る過失の有無に関わらず、予防接種と健康被害との因果関係が認定された方を救済するものです。認定された場合は予防接種法に基づく救済（医療費・障害年金等の給付）が受けられます。申請に必要な手続きなどについては、住民票がある市町村にご相談ください。

そのほか、わからないことがありましたら、接種医療機関または下記までお問い合わせください。